

項目		説明
試料・情報の利用 目的 及び 利用方法	研究課題名	がん-間質細胞相互作用の検索による新規がん進展メカニズムの同定
	研究目的	腫瘍は、がん細胞と多様な種類の間質細胞が密に隣接し、分泌因子を間接・直接的に伝達し、各々の細胞機能を相互に制御し合っている。近年、技術の進歩により、組織上における細胞ごとの遺伝子発現解析や artificial intelligence (AI)解析が可能になり、がんと間質細胞相互作用の評価を客観的に正確に行えるようになった。本研究は、がん・間質相互作用を組織レベル、がん組織由来 PDX・オルガノイドレベル、そして細胞レベルで multi omics 解析を行い、AI 解析を組み合わせることにより、患者さんのがん組織上で生じているがん-間質細胞が相互作用する分子メカニズムを解明し、原発・再発・治療抵抗性・転移がんの治療への応用を目指す。
	研究対象者	2005 年 1 月から 2028 年 3 月までに当センターにて包括同意を頂いた患者さん。
	研究期間	西 暦 2 0 2 0 年 6 月 3 日 ~ 2 0 2 8 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input checked="" type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター 研究責任者	佐藤慎哉
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 千葉大学大学院医学研究院整形外科学 研究責任者 牧 聡</li> <li>● 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 病理部 研究責任者 豊田武士</li> <li>● がん研究会がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト 研究責任者 丸山玲緒</li> <li>● 国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所 バイオマーカー探索トランスレーショナルリサーチ分野 研究責任者 竹下文隆</li> <li>● 千葉大学大学院医学研究院・腫瘍病理学講座 研究責任者 池原譲</li> </ul>